

令和7年度の復興基金事業の概要

令和7年9月

沖縄県



1. 監修会議とワーキング部会の構成と役割

- 監修会議では、学識有識者6人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- 監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「WG部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- 各分野のWG部会には、技術継承を図るため、若手を1名程度含める。

首里城復興基金事業 監修会議 【年2回程度開催】

製作及び監修方針をとりまとめる場
 (1) 製作体制及び製作作業工程に関すること。
 (2) 監修方法及び監修頻度に関すること。

委員	歴史(琉球史)	田名 真之	前沖縄県立博物館・美術館 館長 (委員長)
	歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
	彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
	染 織	寺田 貴子	活水女子大学 特別専任教授
	瓦 類	与座 範弘	元 沖縄県工業技術センター 所長

※協力委員6人（県・国の関係部局より）

各分野の WG部会

彫刻WG部会

大龍柱・御差床など

西村 貞雄
波多野 泉
砂川 泰彦★

歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

焼物WG部会

龍頭棟飾・鬼瓦

西村 貞雄
波多野 泉
森 達也★
山田 聡★
歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

染織WG部会

垂飾（瓔珞）

寺田 貴子
早瀬 千明★

歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

瓦類WG部会

屋根瓦・磚など

与座 範弘
花城 可英★

歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

【年2回程度+適宜開催】

製作や監修方法等の詳細検討

分野別の専門家（2～3人）、歴史系委員1人以上、製作技術者の代表で構成

※WG部会のみ参加の学識者は★

2. 首里城復興基金事業 WG部会 監修委員 (令和6年度～)

※WG部会のみ参加の学識者は★

彫刻WG部会

専門分野	名前	所属
彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
彫刻	砂川 泰彦★	沖縄県立芸術大学 教授
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

焼物WG部会

専門分野	名前	所属
彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
焼物	森 達也★	沖縄県立芸術大学 副学長
焼物	山田 聡★	沖縄県立芸術大学 教授
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

染織WG部会

専門分野	名前	所属
染織	寺田 貴子	活水女子大学 特別専任教授
金工	早瀬 千明★	護佐丸歴史資料図書館 学芸員
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

瓦類WG部会

専門分野	名前	所属
瓦類	与座 範弘	元 沖縄県工業技術センター 所長
瓦類	花城 可英★	沖縄県工業技術センター 主任研究員
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

3. 令和7年度の検討スケジュール

首里城復興基金事業 監修会議

検討項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
県外での調査等		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
製作資料・記録等の検討	■												令和7~8年度
監修会議						●						●	2回
彫刻ワーキング			●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	2回程度
焼物ワーキング			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
瓦類ワーキング			●				■						2回程度
染織ワーキング				●					■				2回程度
製作及び監修	■												

月	会議	議論テーマ
9月17日	第1回 監修会議	<ul style="list-style-type: none"> 各ワーキング部会の検討動向、製作・監修事項の報告 沖縄県による復元製作の記録の編集について 製作の各段階を示す資料の保存・活用について
5月~2月	各ワーキング部会	<ul style="list-style-type: none"> 彫刻、瓦類、染織の各分野の製作を対象に、製作・監修方針の詳細を検討
3月頃	第2回 監修会議	<ul style="list-style-type: none"> 各ワーキング部会の検討動向、製作・監修事項の報告 製作過程の記録撮影（動画・静止画）や情報発信の状況報告 沖縄県による復元製作の記録の編集について 製作の各段階を示す資料の保存・活用について

4. 令和復元における監修会議での製作体制 (R6.9月時点)

- 各WG部会で検討・確認した監修会議の製作体制は以下のとおりで、各チームの情報共有・連携を図る。
- 製作体制への参加が限られるため、技術継承の裾野を広げるためにも、製作記録の活用を含めて、情報発信等については別途検討する。

監修会議 (親会議)

彫刻WG部会

「チーム彫刻」

石彫刻

琉幸建設

- ※社内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：3人
- 中堅技術者：2人
- 若手技術者：2人

木彫刻

県立芸術大学

- ※大学内での学生参画を通じて次世代の技術者育成を図る。
- 熟練技術者：教授・講師など数人
- 若手技術者：卒業生・学生など数人

社寺建

- ※正殿建築作業場との連携を見据え、若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：4人～数人

西建設

- ※県内の学生等の見学等により次世代の技術者育成を図る。
- 熟練技術者：1人

焼物WG部会

「チーム焼物」

壺屋陶器事業協同組合・
県立芸術大学・前回製作者

龍頭棟飾

- ※チーム内で技術者育成・技術継承を図る。
- 熟練技術者：2人
- 若手技術者：11人

鬼瓦

- ※前回製作者の指導を受けながら県内の技術者でチームを構成し、技術者育成・技術継承を図る。
- 熟練技術者：3人
- 若手技術者：6人

県工業技術センター

※技術支援 (瓦類・焼物WG部会)

瓦類WG部会

「チーム瓦類」

金型製造

- ものづくりネットワーク沖繩
- ※社内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：数人
- 若手技術者：数人

瓦製造

- 沖縄県赤瓦事業協同組合
- ※赤瓦製造事業者3社で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：数人
- 若手技術者：数人

染織WG部会

「チーム染織」

刺繍

琉球古刺繍保存会

- ※保存会内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：2人
- 若手技術者：10人

飾玉

美術院

- ※各事業者内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：2人
- 若手技術者：1人

縫製・材料調達等

龍村美術織物

- ※技術支援

5. 本会議における検討内容

- 令和7年度の監修会議等の検討事項は、以下のとおり。

1. 製作・監修【WG部会】

- 製作作業期間を勘案の上、今年度に必要となる製作作業及びその監修を行う。
- 監修については、各WG部会にて対応。
 - WG部会の製作・検討状況について報告（資料2～5参照）

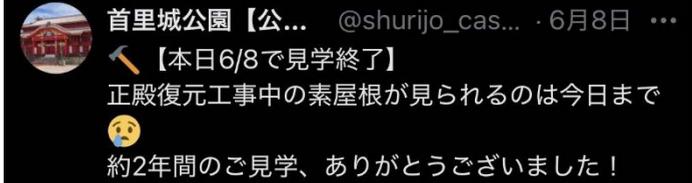
2. 次世代への継承【監修会議、WG部会】

- 本事業が将来の技術継承に資するよう、製作過程の記録撮影（動画・静止画）等を行う他、製作動向に関する情報発信の状況を報告する。
 - 令和7年度第2回監修会議にて報告 ※現時点の情報発信状況は次頁を参照
- 製作に用いた下絵や石膏原型などといった、製作記録の保存・活用について検討を行う。
 - 資料6「製作記録の保存活用について」参照
- 今回の製作過程をとりまとめた記録集の編集に向け、記録集の全体構成や編集の進め方について検討を行う。
 - 資料7「沖縄県による復元製作の記録について」参照

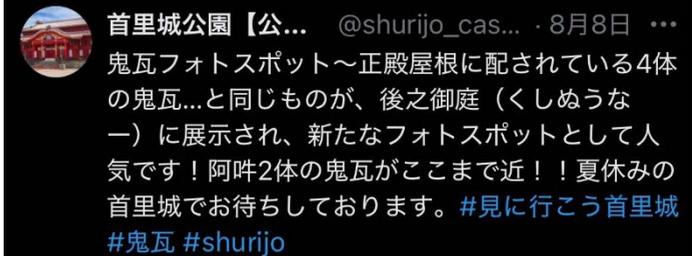
参考：情報発信の状況（見せる復興との連携）

- ニュースリリースによる情報発信（製作物の引渡し段階等で実施）
- 復興展示室などにおける映像展示や実物展示
- SNSによる成果物の引渡しなどの情報発信

▼SNSでの発信状況（首里城公園）



でも...「#見せる復興」は続きます👏
復興展示室・世誇殿で試作品展示スタート🌟
“首里城ゼロ”の始まりを見に来てください！

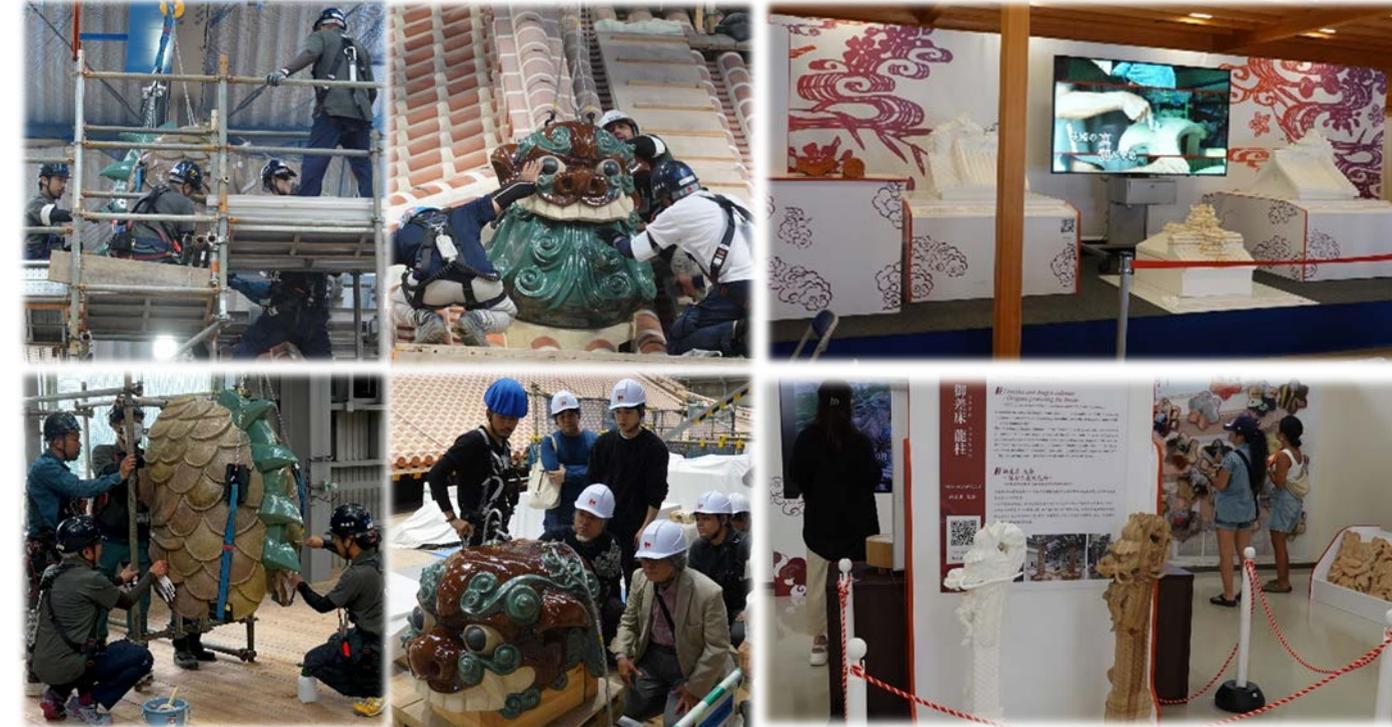


▼ニュースリリース

【龍頭棟飾】

【鬼瓦】

▼首里城公園(復興展示室/世誇殿)



▼県立博物館での展示【石膏原型/試作等】

▼復興展示室での映像（龍棟棟飾）

